

国道16号松原地区線拡幅工事

6車線化拡幅に伴い多摩工高
通りとの交差点が閉鎖されると
聞き、相武国道事務所に存置を強
く要望しました。熊川の南地区、
国道16号線西側の松原町5丁目
の住民は昭島に行くのにこの交
差点を右折し、緑街道入口交差点
を左折します。右折できないとな
ると拝島駅を経由する必要があります
りとても不便になります。

代議士の申し入れもあり、この
交差点が存置されることになり
ました。ぎりぎりの結論で、予定
どおり3月末に武蔵野橋南交差
点から小荷田交差点までの間の
6車線化が供用開始されました。
私も頑張りましたが、相武国道事
務所長のご英断に感謝します。残
るは側道の整備です。

平成30年度予算

福生市では平成28年度から新
公会計制度による財務会計処理を
実施しています。平成30年度予算
ではPDC Aサイクルに乗った初
めの予算編成となりました。

一般会計の予算額は、歳入歳出
それぞれ244億円と定められま
した。平成29年度に比べて4億1
000万円、1.7%の減となります










が、特別会計等を加えた総合計は
380億6769万円となり、平
成29年度に比べて15億992
3万円、4.0%の
減となります。

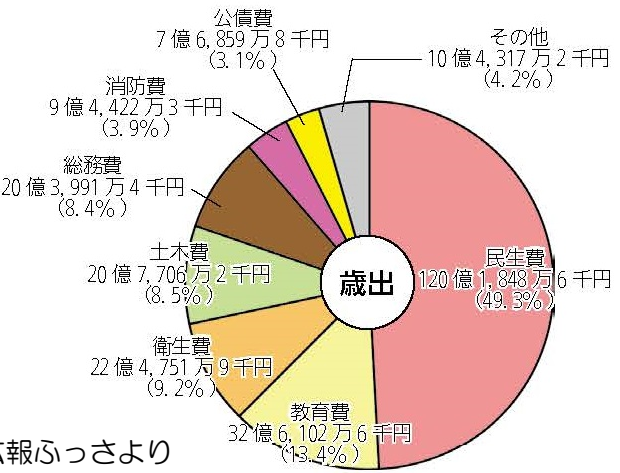
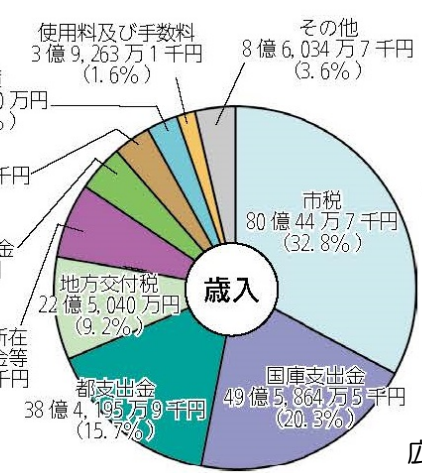
一般会計歳入・
歳出の内訳を広
報ふっさのグラ
フをもとに示し
ます。(最下段)

今回は予算の
使い道を市民一
人当たりで計算
してみました。
さらに、10年前
(平成20年度)
の予算と比較し
てみました。

民生費が大幅
に増加していま
す。この傾向は
しばらく続くの
ではないでしょ
うか。教育費も
増加しているこ
とから教育に力
を入れてきたこ
とが分かりま
す。一方、総務
費、公債費が減
少しています。

これは行政改革が進んだと理解し
ています。

民生費 120億1,849万円 (高齢者及び障害者福祉、子育て、医療など)  市民1人 当たり：20.6万円 (10年前：13.3万円)	教育費 32億6,103万円 (学校教育や生涯学習、スポーツ振興など)  市民1人 当たり：5.6万円 (10年前：4.0万円)	衛生費 22億4,752万円 (予防接種や健康診査、市民健康づくり、ごみ収集処理など)  市民1人 当たり：3.8万円 (10年前：4.4万円)
土木費 20億7,706万円 (道路や河川、公園などの管理や整備費用)  市民1人 当たり：3.6万円 (10年前：3.1万円)	総務費 20億3,991万円 (市役所の運営、広報、財政、防災活動など)  市民1人 当たり：3.5万円 (10年前：3.7万円)	消防費 9億4,422万円 (火災や災害に対する消防活動や救急活動など)  市民1人 当たり：1.6万円 (10年前：1.6万円)
公債費 7億6,860万円 (市の借金返済にかかる経費)  市民1人 当たり：1.3万円 (10年前：2.1万円)	議会費 2億8,180万円 (議員の報酬、議会事務、運営にかかる経費)  市民1人 当たり：0.5万円 (10年前：0.5万円)	その他 7億6,137万円 ()  市民1人 当たり：1.3万円 (10年前：0.6万円)



左の円グラフは「広報ふっさ」
4月15日号で説明されたもので、
歳入・歳出を費目ごとに比較でき
ます。

広報ふっさより